

受付番号	17
事業区分	経営者研修会事業
実施機関名	厚木商工会議所 [URL: http://www.atsugicci.or.jp/] (実施都市名: 神奈川県厚木市)
テーマ名称	経営革新のためのIT戦略立案研修会 (IT経営者研修会)
主催	主催: 主催: 済産業省・関東経済産業局 実施機関: 厚木商工会議所 連携機関: 相模原市 厚木市 相模原商工会議所 西武信用金庫橋本支店 多摩信用金庫相模原支店 日本政策金融公庫厚木支店 平塚信用金庫厚木支店 八千代銀行相模原支店 横浜銀行相模原駅前支店 さがみはらIT協同組合相模原中小情報処理産業振興会 (SASIIA) かながわIT推進会 県央フォーラムNPO法人首都圏南西経営応援隊 相模ITコーディネータ協議会協賛: 大和商工会議所 海老名商工会議所 座間市商工会 綾瀬市商工会 愛甲商工会 相模湖町商工会 津久井町商工会 城山町商工会 藤野町商工会 後援:
原稿作成年月日	平成 21年10月26日
作成者名 (公開したい場合のみ記載)	[資格] [氏名] [E-mail] ・ ITC 足立 秀夫 h-adachi@246.ne.jp ・ ITC 小泉 誠二 skoizumi@fusionknowledge.co.jp ・ ITC 今井 彬伯 imail23@est.hi-ho.ne.jp ・
事業を支援した専門家名 (公開したい場合のみ記載)	[資格] [氏名] [E-mail] ・ ITC 今井 彬伯 imail23@est.hi-ho.ne.jp ・ ITC 足立 秀夫 h-adachi@246.ne.jp ・ ITC 小泉 誠二 skoizumi@fusionknowledge.co.jp ・ ・ ・

【キーワード】 * 検索のためのキーワード

経営革新 経営者 IT戦略立案、経営戦略企画書、経営戦略策定

【テーマを取り上げた狙いと目的・目標】 * 簡潔に分かりやすく、できるだけ定量的に。

2 狙い: 中小企業にとってIT活用はどこから手を付ければ良いのか、どの程度やればいいのか、どのくらい費用がかかるのか等、不安要素が多い。そこで、強い企業となるためには経営革新が必要であることを理解していただき、まず経営戦略の策定が必須であることを理解したうえで、自社の経営戦略を策定する手法を学び、自社を分析し、課題を明確にする。自社の課題を明確にした上で、これを解決するためにIT化戦略を策定する手法を学び、自社のIT化戦略を策定してみて、自社の将来の絵を描く。同時に、IT活用の効果を理解するだけでなく、導入に際しての注意すべき点も理解してもらい、確実なIT活用が企画できるようにする。これにより、IT活用までの確実な手法を理解し、IT活用に対するアプローチの不確実さを払拭すると共に、自社の経営革新の絵を明確にし、意欲的IT活用への取り組み姿勢を醸成する。

◇ 目標: 各参加企業ごとに経営戦略企画書、IT経営企画書を作成し、発表会をおこない、相互評価を行う。受講した個別企業に対しフォローアップを実施し、1~2年後には「伝道師となる企業」を1社以上作り出す。

【研修会事業の概要】

◇ 方針: 本研修は企業体質強化のために経営革新を推進することを目指し、その手段として、IT活用を推進しようとしている。そのためにはまず、経営戦略を明確に把握し、その上で、経営戦略を遂行するための手段としてIT活用にどう結びつけるかを理解し、前向きの姿勢を醸成する。

◇ 研修の特長:

1) 本研修はIT活用を目指す企業の参加だけでなく多くの地域の関連組織を巻き込んで実施した。厚木市役所関連部門職員に参加してもらい、企業の体質強化のために本手法が有効であることを理解してもらい、長期の地域プロジェクトとして根付かせるよう、施策に反映してもらおう。

2) 演習においては数名のITCの専門家が中に入り適宜例などの紹介をしながら個別にアドバイスを実施したことにより、グループ内での専門用語などの理解のばらつきを無くし、受講者の理解を促進をした。これにより、業態の違いによる知識を補強し、受け身から主体的に参加する雰囲気を醸成した。

3) 研修の内容としては、単に手法の実習だけでなく、多くの実例を示し、効果を知ってもらおうと同時に、IT化実施の際の落とし穴も理解してもらい、失敗の少ないIT活用を目指す。

◇ 研修プログラム

カリキュラム	
第1日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 9月2日(水) 10時～17時 ① オリエンテーション ② 講義「経営改革とIT経営」(経営戦略とIT経営企画はなぜ必要か) ③ 演習1: 経営環境分析と事業ドメイン分析(事例による社長の思いと経営目標の確認、経営環境分析(SWOT分析)、事業ドメイン分析) ④ 演習2: 重要成功要因の選択(事例による事業ドメインを実現させるための経営課題の抽出、経営課題の重点化、重要成功要因(CFS)の選択、ビジネスモデル)
第2日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 9月9日(水) 16時～19時 ⑤ 講義「IT経営企画とは」(経営戦略企画からIT経営企画へ、IT経営企画立案手順) ⑥ 演習3: IT成熟度分析(事例による現在の姿とあるべき姿の設定) ⑦ 講義「経営課題を解決する情報システム」(小売業や建設業での事例)
第3日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 9月16日(水) 10時～17時 ⑧ 演習4: IT経営企画とアクションプラン策定(事例による競争力の特定とIT施策の選択、競争力強化のアクションプラン、経営戦略企画書とIT経営企画書作成) ⑨ 講義「IT経営の壁と対策」(身の丈にあったIT投資、知恵を出すIT投資へ、キーマン育成、社長のリーダーシップ) ⑩ 講義「IT新改革戦略とIT経営応援隊」(IT経営確立と競争力強化、ITコーディネータ) ⑪ 演習5(個人作業): 自社の経営戦略企画書とIT経営企画書の作成に関する説明
第4日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 9月30日(水) 16時～19時 ⑫ 発表 自社企画書の発表と質疑 ⑬ まとめ 相模IT経営応援隊紹介
第2日目と第4日目には交流会を開催	

研修風景



〔研修会事業での成果〕

1. 目的・目標に対して実現した成果

- ・ 経営戦略企画書策定及びIT経営企画書策定の各種手法理解が演習を通じて出来た
- ・ 経営戦略策定プロセスおよびIT戦略策定の流れを、演習を通じて理解することができた
- ・ 自社の経営戦略企画書、IT経営企画書を作成できた

2. 研修会事業で参加者の今後の活動に期待される成果

- 自社の戦略構築に関して習得した手法を使い策定ができることにより、経営戦略の精緻化ができる
- ・ 自社の戦略構築する手法が社内で展開できる。
 - ・ IT経営の実行計画書作成にあたり完成度があがる

〔研修会事業の評価〕

1. 研修会事業の成功要因

経営にITをという受講者の前段階での気づきが既にあり、積極的受講姿勢があったこと

- ・ IT経営及び中小企業に関する経験豊富な講師が担当したこと
- ・ 少人数グループの演習により、講師が個別の指導を行うことができた
- ・ 自社のSWOT分析を早めに考えることにより、以降の理解が促進できたこと
- ・ スペースやツール類の研修環境が整備されており、スムーズに研修を実施できたこと

2. 研修会事業での課題

- ・ 11名であったが、月末締め日に当たるなど開催時期の問題による欠席者が多かったこと
- ・ 4日間、1か月にわたる長期研修のため突発的業務で部分的欠席者がいたことにより、グループワークのグループ分けに苦勞したこと
- ・ 小規模企業の場合はバックアップする人材がないため受講者の時間負担が大きい
- ・ 演習はグループでの自主運営のためリーダー、書記、発表者、タイムキーパーなどの役割が徹底できなかったこと
- ・ 創業したての企業にとって分析の製造業の専門用語などの理解に時間がかかる
- ・ 作成した自社の企画書については不十分だという意見がほとんどで、事後の成果物に更なるブラッシュアップとフォローアップが必要である

3. 研修会事業に対する実績評価・感想

- ・ 内容が充実していいとわかり易かったため、役に立ったというアンケート結果を多くいただいたこと
- ・ 経営戦略企画書及びIT経営企画書を発表いただき、研修内容は理解いただいたと判断できる
- ・ 開催時間、開催時期については工夫が必要である
- ・ 10人以下の小規模企業では簡易版（1日）の設定が望まれる